| 公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会<br>2026年度 基本方針 | |
|---|---|
| LOM強靭化室　副会長　大島　俊太郎 | |
| 現状把握 | 近年、アカデミーメンバーの割合の増加や卒業までの在籍年数の短期化により、役職や事業を通しての成功体験の不足から、青年会議所としての精神性や知識の継承が難しくなり、その結果、LOMによっては例会の安定的な開催すら困難となる現状が見受けられます。青年会議所は地域の課題解決に取り組み、明るい豊かな社会の実現を目指す組織である以上、その活動を持続させることが不可欠です。そのためには、現在活動しているメンバーが自LOMへの愛着を持ち、組織として地域の課題解決に向けた運動を最大限発揮していくことが重要です。 |
| LOM強靭化室<br>設置背景 | 各LOMに寄り添い、共通の課題と特定の課題を振り分け、茨城ブロック協議会のスケールメリットを活かした効果的な支援を行い、最良のパートナーとして各LOMの組織力を最大限に活かす必要があります。 |
| LOM強靭化室<br>概要 | 1.内に入り込んだLOMの活性化 |
| | LOMが地域に根差した運動を継続的に展開するために、より良い組織へ成長する可能性を秘めたLOMにおける現状や課題を明確化し、委員会として支援内容を具体的に提示、実施することで、人員が少ないなかでも最大限の成長の機会につながる運動が展開できます。 |
| | 2. 各LOMのレジリエンス強化 |
| | 地域の未来を担う青年として、地域の発展へ寄与し続ける組織となるために、各地メンバーとの積極的な交流を図り、諸大会や各事業への参加を促し、そこで自身が感じたことや気づきをアウトプットする機会を創出することで、メンバーが主体的に成長の機会を捉え、組織全体の活力と発展につながります。 |
| | 3. 中期ビジョン（2027-2031）の策定 |
| | 時代に沿った茨城ブロック協議会として在り続けるために、時代の背景に沿って柔軟に変えられるよう中期ビジョンを策定し、短期での検証を行えるよう資料を作成することで、茨城ブロック協議会の歩んでゆく道筋が明確になります。 |
| LOM強靭化室による<br>LOM支援の<br>実施内容 | ・各LOMの課題を茨城ブロック協議会として取り纏め、支援の内容や支援を行った結果がわかるよう情報の共有を行います。<br>・各LOMが自走できるよう、事業の開催支援や組織運営の支援を行います。<br>・各諸大会への声掛けをLOMの例会や交流会に参加し、交流を深めながら行います。 |
| 1年間の成果 | 各LOMが抱える多様な課題に対し、ともに向き合い、迅速に相談、支援を行える体制を構築し、各LOMが地域課題に主体的かつ積極的に取り組み、継続的に挑戦を続けられる組織基盤を確立してまいります。 |